

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第13号 平成20年 8月 3日

捕手牧野好リード&好守 サード秋山も好守で貢献！

政司粘投 無四球完投勝利！



8月2日P I O L A Xと、今季2戦目のオープン戦を行った。結果は、均衡を我がチームが制し、対戦成績を1勝1敗のタイに持ち込んだ。勝敗の境目は四球の数であろう！我がチームのキャプテン政司は8安打・WP1こそ与えるが、四死球が0。これは今期の我が投手陣、最高のピッチングで有った事は間違いの無い事実、迎えた相手投手陣は、10個の四死球、これが勝利の差で有った。ゲームを振り返ってみると、先頭の中富がサード内野安打で出塁、すかさず、2盗・3盗を決め、早くも先制のチャンス。5番ジローの打席の投手WPの間に先制を挙げた。2回も打席低迷中の泉がクリーンな左中間2ベースを放つも、暑さでぼけてあえなく2塁塁上でタッチアウト！流れが動くかと思ったが、今日の政司は微動だにしない。相手2回表の攻撃で、先頭打者をサード内野安打で出塁し、6番打者WPの間に、スコアリングポジションに進め、相手主将の篠原にきっちりセンター前に運ばれ、同点とされた。5回、我が攻撃、先頭、次打者と連続四球を選び、PBの間に1アウト2、3塁、松下のサードゴロの間に、3塁ランナー泉がホームを狙うもホーム上のブロックに阻まれ、得点はならず、しかし、先頭中富が四球を選び、押し出しでこれが、決勝点となった。草野球故、四死球・WPが0とはいかないケースが非常に多い、しかし、この行為が少なければ、例えヒットが少なくても勝てる、言い換えれば多ければ勝てない事を学んだゲームであったと思う。著者を含め、いささか走塁に雑なところが有っただけに、この変を修正していけば、他力でも勝ちを手にする事が出来るので、修正していきたい。しかし、暑い中選手はお疲れ様でした。まだまだ、暑い時期が続きますが、体のケアをしながら、後半戦に望みましょう！